

【環 境】

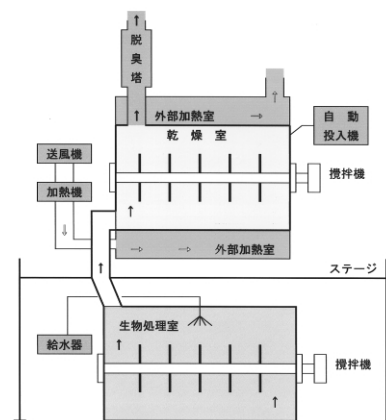
乾燥処理と生物処理を組み合わせた効率的な消滅型生ごみ処理装置

登録番号19 - 108

〔技術・製品の概要と特徴〕

乾燥処理方式と生物処理方式を組み合わせ単独の処理方法での問題点を補完した完全消滅タイプの生ごみ処理装置。処理プロセスの前段の乾燥処理室では、醗酵に不利な酸性物質などが蒸発・分解し、嫌気性菌などの有害な微生物は死滅する。生ごみは乾燥により均質な顆粒状となり、物性変動の影響を少なくし、プロセス後段に設置した生物処理室の負荷を軽減できる。乾燥は5～7時間、生物処理は12時間で処理できるため1サイクル24時間以内に終了する。

生
ご
み
処
理
装
置
図



〔用 途〕

食品リサイクル法対象事業所（スーパー・ホテル・飲食店など）の食品生ごみ
学校・企業・病院などの食品生ごみ
食品製造・加工工場などの食品生ごみ

〔希望する技術移転の 形態・ 相手先・ 地域〕

特許実施権供与（特許権確定後）共同研究開発（共同事業化、実機テストなどの資金提供先を希望。実機テストを経て商品化の予定）
企業規模は問わない
国内に限る

〔開発段階〕

試作・実験〔未了（中間試験まで完了）〕
製造・販売実績（有） 関連特許（出願中）

〔提供可能資料など〕

技術資料、出願特許概要、東京都創造的新技術認定資料